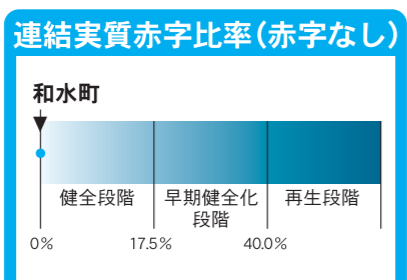
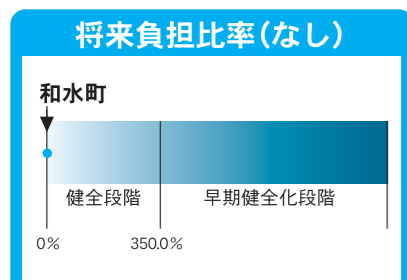
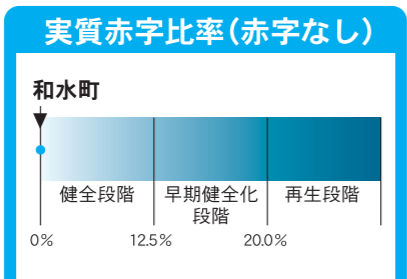
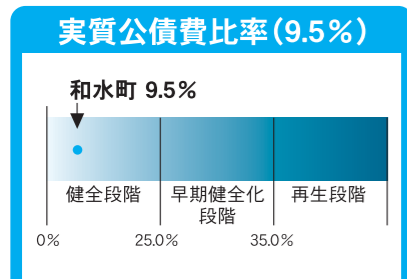


# 健全化判断比率

健全化判断比率で示された4指標。指標の数値によって、まず早期健全化団体になり自主努力による改善、だめなら財政健全化団体として国が関与する2段階の仕組みになっています。



※標準財政規模:地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の総量(町税、地方交付税など)

すべての会計(和水平町の場合、一般会計と11の特別会計(春富財産区特別会計を除く))を対象とした指標で、全会計における赤字・黒字の要素を合算して財政状況を判断します。各会計決算の実質収支額の合計が赤字になる場合、比率が算定されます。和水平町では、全会計の実質収支額の合計は14億7,196万円の黒字となるため、比率は算定されません。

平成22年度決算から見る和水平町の財政状況は、健全であるといえます。しかし、少子高齢化の進展による扶助費の増加や国・県の厳しい財政状況の中で、今後の財政運営は厳しくなることが予想されます。こうしたことから、長期的な財政運営を視野に入れ、歳入においては、町税等の収納率向上や受益者負担の適正化を図ること、歳出においては見直しと再編による事務事業の見直し、優先順位を付けた投資事業の選定を行い、これまで以上に堅実な財政運営を行ってまいります。町民の皆さんに、財政状況をよく知っていただくために財政事情の公表や、出前講座を通してお伝えしていきますので、よろしくお願いたします。

### 資金不足比率(資金不足額なし)

公営企業会計5事業の資金不足額(赤字)の比率です。

### 資金不足比率(資金不足額なし)

公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率が高ければ経営状況に問題があります。公営企業のサービスは病院や下水道など、日常生活に欠くことができないため、早期の経営健全に向けて別途に比率が算定されます。和水平町では5の公営企業に関わる会計すべてにおいて、資金不足額はありませぬ。

# 財政健全化法

平成19年6月「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が成立、公布されました。この法律は和水平町を始めとした地方公共団体の財政状況を4つの指標によりあらわし、その健全度を測ることで、破たんを防止早期に健全化を促すことを目的としています。

和水平町	普通会計	一般会計	実質赤字比率	連結実質赤字比率	将来負担比率	
		奨学金事業会計				
		国民健康保険事業会計				
		老人保健事業会計				
		介護保険事業会計				
	公営事業会計	後期高齢者医療事業会計				資金不足比率(各会計毎に算定)
		特別養護老人ホーム事業会計				
		病院事業会計				
		住宅用地造成事業会計				
		簡易水道事業会計				
		下水道事業会計				
特定地域生活排水処理事業会計						
一部事務組合・広域連合など						
第三セクターなど						

#### 老人保健事業会計

後期高齢者医療制度への移行に伴い、老人保健制度は終了。本会計は平成22年度で廃止。  
歳入額 2,591万円  
歳出額 1,750万円  
差引額 841万円

#### 国民健康保険事業会計

加入世帯(年間平均)は、1,944世帯、被保険者数は3,775人。  
歳入額 17億6,254万円  
歳出額 15億7,390万円  
差引額 1億8,864万円

#### 奨学金事業会計

貸与者 高校生5人(内1人途中辞退) 大学生12人  
歳入額 717万円  
歳出額 486万円  
差引額 231万円

#### 春富財産区特別会計

春富区の山林の財産を管理している会計。  
歳入額 201万円  
歳出額 14万円  
差引額 187万円

# 特別会計

特定の目的などのために一般会計とは区別して経理している会計で、12の会計があります。

#### 簡易水道事業会計

簡易水道3地区を管理運営。給水戸数は434戸、給水人口は1,402人。  
歳入額 4,738万円  
歳出額 3,650万円  
差引額 1,088万円

#### 住宅用地造成事業会計

久井原ニュータウン全52区画グリーンビレッジ平野全11区画全て完成しました。  
歳入額 1,980万円  
歳出額 1,749万円  
差引額 231万円

#### 特別養護老人ホーム事業会計

特養さくすい荘運営経費、入所定員110名、デイサービス利用者年間延べ4,220人。ショートステイ利用者年間延べ2,525人。  
歳入額 5億8,234万円  
歳出額 4億9,288万円  
差引額 8,946万円

#### 後期高齢者医療事業会計

被保険者数は2,531人(75歳以上の人、一定の障害認定をお持ちの65歳以上74歳未満の人)。  
歳入額 1億4,679万円  
歳出額 1億3,917万円  
差引額 762万円

#### 介護保険事業会計

要介護認定者は860人。保険給付は41,039件、13億9,611万円。  
歳入額 15億3,876万円  
歳出額 14億8,461万円  
差引額 5,415万円

#### 公営企業会計(法適用)

自治体でも法律で収益が認められている企業会計です。和水平町立病院事業会計のみ該当します。

#### 特定地域生活排水処理事業会計

合併浄化槽の管理運営。22年度は42基設置。町内の全整備(管理)基数は432基。  
歳入額 1億944万円  
歳出額 9,368万円  
差引額 1,576万円

#### 下水道事業会計

下水道1施設を管理運営。総加入戸数は340戸、加入人口は906人。  
歳入額 1億485万円  
歳出額 9,573万円  
差引額 912万円

## 町の家計簿

平成22年度一般会計決算額を年収400万円の家計に例えてみました。

【収入】	内 訳	金額	構成比
【収入】	給料(町民税、固定資産税などの町税)	49万円	12.2%
	パート収入(施設の使用料や手数料など)	11万円	2.8%
	親からの仕送り(国から支払われる地方交付税や補助金など)	271万円	67.8%
	家の改築ローンの借り入れ(建設費や公共施設整備費など)	44万円	11.0%
	前年からの繰越金	25万円	6.2%
	<b>合計</b>	<b>400万円</b>	<b>100.0%</b>
	■現在の家庭の貯金(基金残高)	268万円	
■現在の家庭のローン(借入金残高)	356万円		

【支出】	内 訳	年額	構成比
【支出】	食費(職員の給料、手当てなどの人件費)	56万円	14.7%
	家族の医療費(児童手当や福祉医療費などの扶助費)	37万円	9.7%
	光熱水費など雑費(光熱費、消耗品などの物件費、補助金などの補助費)	84万円	22.1%
	車や家具の修理代(町が管理する施設の維持補修費)	6万円	1.6%
	子どもへの仕送り(国民健康保険、下水道、病院など他会計への繰出金)	37万円	9.7%
	ローンの返済(借金の返済費用)	42万円	11.1%
	家の増改築費(道路など公共施設を整備する費用)	44万円	11.6%
	娘夫婦への貸付金(第3セクターへの貸付金)	4万円	1.1%
	貯金(基金への積立金)	70万円	18.4%
	<b>合計</b>	<b>380万円</b>	<b>100.0%</b>
	■差し引き残高(形式収支)	20万円	

この家庭の収入を見てみると、全体の収入(400万円)のうち、家族で働いて得たお金は60万円で、3分の2以上は親からの仕送りに頼っている状況です。親からの仕送りが減っていくとこの家庭の家計は大変厳しい状況になりそうですね。支出を見ると、光熱水費などの雑費が2割強を占めています。また、子どもへの仕送りやローンの返済、家の増改築費なども負担になっているのがわかります。しかし、貯金をしっかりできているのは良い事ですね。



問い合わせ先 本庁 総務課 財政係 ☎0968・86・5720